

【別紙様式3】

再評価実施事業調書

番号	11	事業名	銚子市公共下水道事業		路線又は箇所名等		芦崎処理区		
事業所管課		下水道課			事業主体		銚子市		
事業化年度	昭和46年	用地着手年度	昭和46年		工事着手年度	昭和46年	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
				工事終了年度	平成39年				
費用便益費 B/C	1.4	総費用	987 億円	総便益	1,360 億円	基準年	平成20年	供用開始 年度	昭和58年

【事業概要】

項目	全体計画(目標年次:H29)	事業計画(完成予定年次:H23)	現況(H20)
処理区域面積	1,602ha	895ha	691ha
処理人口	64,000人	38,700人	32,000人
芦崎終末処理場の処理能力	48,000m ³ /日	32,000m ³ /日	24,000m ³ /日
事業費	664億円	406億円	365億円

【事業の進捗状況】

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画895haに対して、691haを整備し、整備率は77%である。
処理場用地の取得状況	全用地を取得済である。
処理施設の供用状況	事業計画の処理能力32,000m ³ /日に対し、24,000m ³ /日を整備し、整備率は75%である。
供用開始区域の接続状況	接続率72%である。
地元情勢等	地元住民の協力は得られている。

【社会経済情勢等】

指 標	状 況
社会経済情勢	下水道事業に影響のある社会経済情勢の変化は特はない。
自然環境条件	利根川の水質汚濁に係わる水質環境基準に変更はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

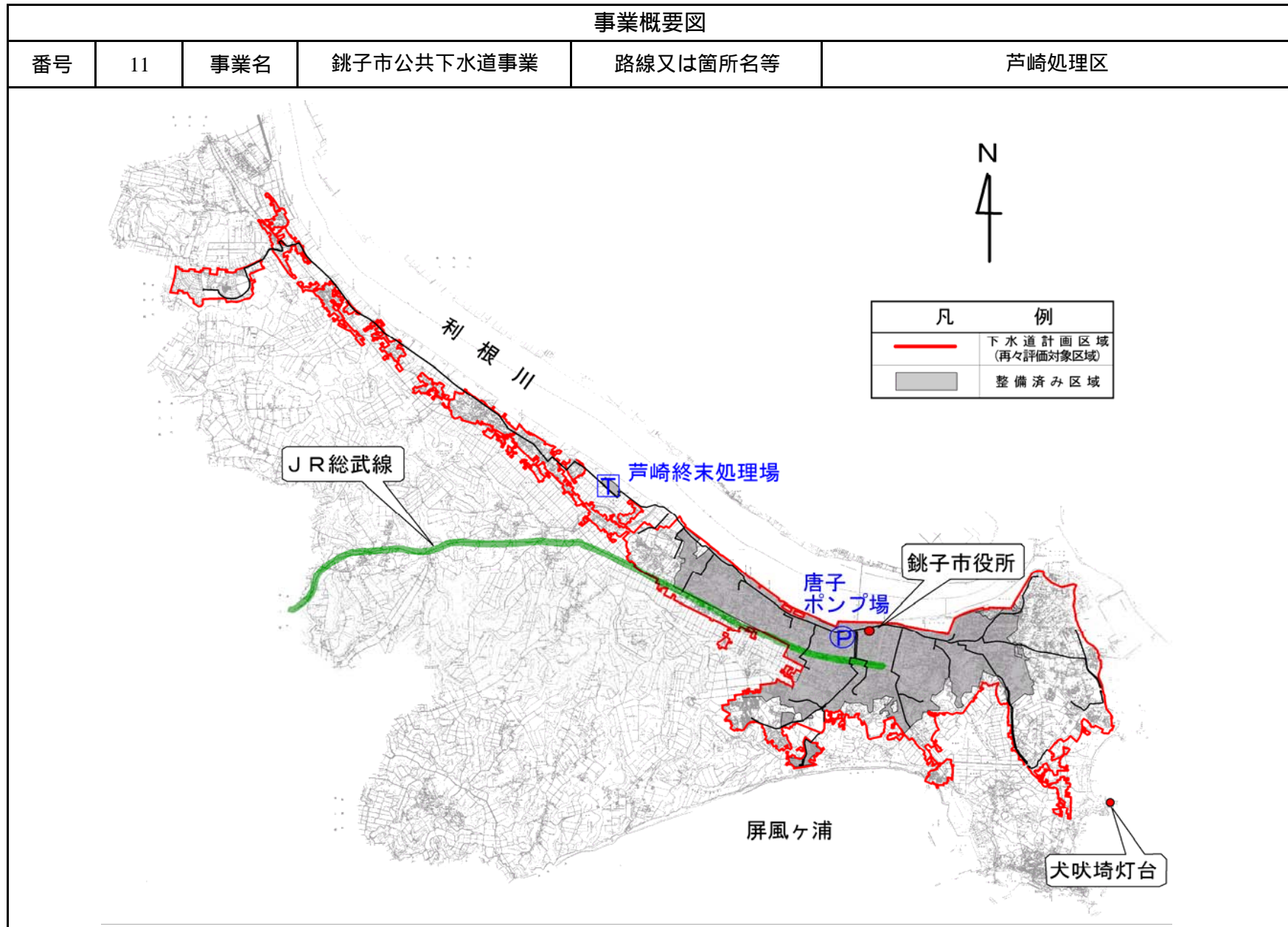
【コスト縮減・代替案】

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	当市の市街化の状況から、下水道整備が最適。

【対応方針(案)】

以上の各指標の状況から判断すると、銚子市公共下水道事業は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続していく方針です。

【別紙様式4】



【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	11	事業名	銚子市公共下水道事業	路線又は箇所名等	芦崎処理区	
事業化年度	昭和46年	用地着手年度	昭和46年	工事着手年度	昭和46年	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成10年	供用開始 年度	昭和58年	対応方針	継続	
B / C		総費用		総便益		
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業の継続が妥当とのご意見をいただいた。						
再評価時の進捗状況及び再評価時想定10年後の進捗状況						
		計 画	進捗状況			
全体事業費		631億円	277億円			
用地取得面積		5.3ha	4.0ha			
供用面積(延長)		1,713ha	493ha			
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年	供用開始 年度	昭和58年	対応方針	継続	
B / C	1.4	総費用	987 億円	総便益	1,360 億円	
現在の進捗状況						
		計 画	進捗状況			
全体事業費		664億円	365億円			
用地取得面積		4.1ha	4.0ha			
供用面積(延長)		1,602ha	691ha			
再評価後の 経過及び 処理状況	再評価時から現在に至るまで、概ね順調に事業が進展している。					

【別紙様式3】

再 評 価 実 施 事 業 調 書

番 号	11	事業名	銚子市公共下水道事業		路線又は箇所名等		和田排水区他		
事業所管課		下水道課			事業主体		銚子市		
事業化年度	昭和50年	用地着手年度	-		工事着手年度	昭和50年	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
					工事終了年度	平成39年			
費用便益費 B/C	1.3~1.6	総費用	24 億円	総便益	32 億円	基準年	平成20年	供用開始 年 度	昭和50年

【事業概要】

項目	全体計画(目標年次:H29)	事業計画(完成予定年次:H23)	現況(H20)
排水区域面積	106ha	71ha	36ha
処理人口	-	-	-
芦崎終末処理場の処理能力	-	-	-
事業費	25億円	19億円	13億円

【事業の進捗状況】

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積は、事業計画71haに対して36haを整備し、整備率が51%である。
処理場用地の取得状況	-
処理施設の供用状況	-
供用開始区域の接続状況	-
地元情勢等	地元住民の協力は得られている。

【社会経済情勢等】

指 標	状 況
社会経済情勢	下水道事業に影響のある社会経済情勢の変化は特にない。
自然環境条件	-
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

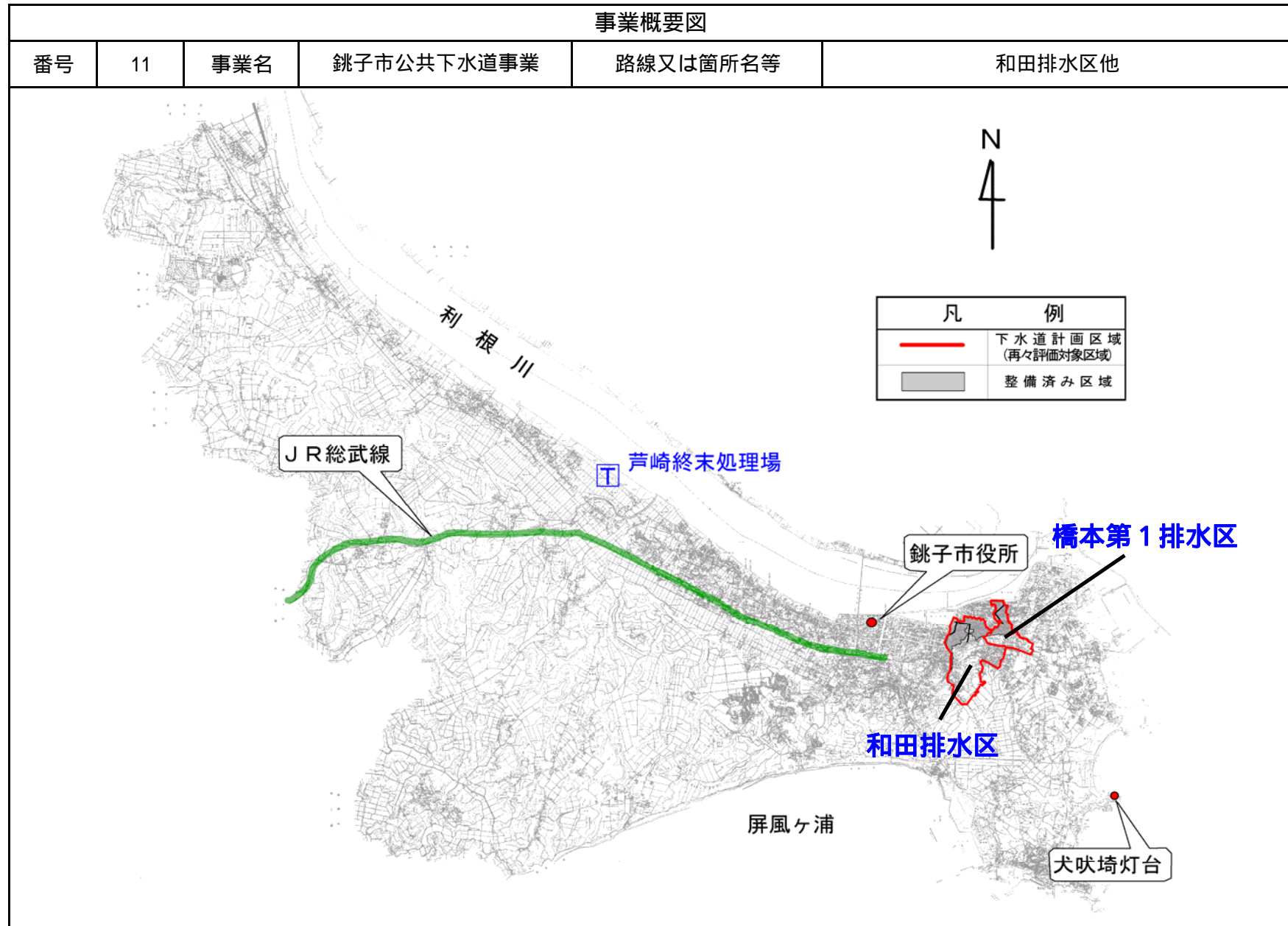
【コスト縮減・代替案】

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	-

【対応方針(案)】

銚子市公共下水道事業については、今後も引き続き整備が必要であることから、当事業を継続していく方針です。

【別紙様式4】



【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	11	事業名	銚子市公共下水道事業	路線又は箇所名等	和田排水区他	
事業化年度	昭和50年	用地着手年度	-	工事着手年度	昭和50年	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成10年	供用開始 年 度	昭和50年	対応方針	継 続	
B / C		総費用		総便益		
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業の継続が妥当とのご意見をいただいた。						
再評価時の進捗状況及び再評価時想定の10年後の進捗状況						
	計 画		進捗状況			
全体事業費	8億円		6億円			
用地取得面積	-		-			
供用面積(延長)	106ha		19ha			
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年	供用開始 年 度	昭和50年	対応方針	継 続	
B / C	1.3~1.6	総費用	24 億円	総便益	32 億円	
現在の進捗状況						
	計 画		進捗状況			
全体事業費	25億円		13億円			
用地取得面積	-		-			
供用面積(延長)	106ha		36ha			
再評価後の 経過及び 処理状況	再評価時から現在に至るまで、主に幹線整備を行い、事業は進展している。					